

2026年9月
東海防衛支局

岐阜基地での不整地着陸訓練に関するお知らせ

山口県に所在する米軍岩国基地に配備されている空中給油機KC-130が、今後、岐阜基地で不整地着陸訓練を定期的 to 実施することについて米側と調整しており、令和8年9月、岐阜基地関係自治体に説明（資料2枚）させていただきましたのでお知らせします。

東海防衛支局としては、本計画について、引き続き関係自治体に丁寧な説明を行い、ご理解とご協力を得ながら進めてまいります。

米軍岩国基地所属KC-130による岐阜基地での不整地着陸訓練について

- 米軍岩国基地に配備されているKC-130が、パイロットの練度維持のため、今後、岐阜基地で不整地着陸訓練を定期的に実施する予定です。
- 岩国基地から飛来し、不整地着陸帯（未舗装の滑走路）において離着陸及び連続離着陸訓練（タッチ&ゴー）を1回あたり2.5時間程度行い、同日中に岩国基地へ帰投する計画です。
- 岐阜基地は自衛隊の基地で唯一、不整地着陸訓練施設が整備され、自衛隊の同型機（C-130）を使用した訓練を実施していることから、適地との判断に至ったものです。
- KC-130は、戦闘機ほどの騒音は発生しませんが、訓練の実施にあたっては、米側に対し安全管理の徹底を求め、地域住民の皆様に不安を与えることのないよう、安全確保に万全を期してまいります。

【米軍によるKC-130不整地着陸訓練の概要】

【KC-130】



【不整地着陸訓練の状況】



- 開始時期：令和9年1月以降を予定
- 機種：米海兵隊 KC-130
- 訓練頻度：月3回、うち1回は夜間訓練
- 訓練時間：1回あたり2.5時間程度
- 夜間訓練：日没後～21:30頃まで

※天候等により21:30頃を超える場合でも22:00頃までには撤収

- 滞在期間：日帰りで実施
- 土日・祝日の訓練：土日・祝日の訓練は行わない。ただし、必要があれば岐阜基地と調整の上で訓練が行われる場合がある。

【参考 1】 岐阜基地全景



【参考 2】 KC-130の概要



全 幅	40.41m
全 長	29.79m
全 高	11.84m
自 重	34,274kg
最大離陸重量	79,378kg
最大速度	671km/h
航続距離	5,250km
乗 員	3~6名

【参考 3】 連続離着陸訓練（タッチ&ゴー）のイメージ

着陸した航空機が停止することなく、ただちに加速して再び離陸を行う飛行方法・主として離着陸の訓練で使用される。

